

# 2019年12月期 第3四半期 決算補足説明資料

2019年11月14日

## 株式会社HANATOUR JAPAN



東証マザーズ コード 6561

## サマリー

---

■ 2019年12月第3四半期は前年同期比7.8%減収34.4%営業減益  
■ KRW安により為替差損1,141百万円を計上し6.8億円経常損失

---

■ ホテル・バス事業は増益となるも、日韓情勢の影響による旅行事  
■ 業・免税事業の減益を吸収できず

---

■ 「Gorilla」によるFIT（個人向け）中国・ASEAN諸国の強化  
■ ホテルの新規開業（2019.12札幌、2020以降に金沢・京都）  
■ リスク分散と事業拡大に注力

---

## 2019年12月期3Q 損益計算書

リースバックにより売上原価が低減する一方、大森ホテルのフル稼働により販管費が増加

単位：百万円（百万円未満切捨て）、%

	2018/12		2019/12 前期比				
	3Q	構成比	3Q	増減	伸率	構成比	
売上高	<b>6,000</b>	100.0	<b>5,534</b>	△ 466	△ 7.8	100.0	<b>売上原価</b> ・バス車両のリースバックによるランニングコスト低減 271百万円 減 ・免税の売上減少に伴う原価減 178百万円 減
売上原価	<b>2,198</b>	36.6	<b>1,774</b>	△ 424	△ 19.3	32.1	
売上総利益	<b>3,802</b>	63.4	<b>3,760</b>	△ 41	△ 1.1	67.9	
販管費	<b>3,030</b>	50.5	<b>3,254</b>	225	7.4	58.8	
うち人件費	<b>1,080</b>	18.0	<b>1,107</b>	27	2.5	20.0	
営業利益	<b>771</b>	12.9	<b>505</b>	△ 265	△ 34.4	9.1	<b>営業外費用</b> KRW安⇒為替評価損 1,141百万円
経常利益	<b>831</b>	13.9	△ <b>684</b>	△ 1,515	-	△ 12.4	
親会社株主に帰属する当期純利益	<b>614</b>	10.2	△ <b>479</b>	△ 1,094	-	△ 8.7	
為替レート JPY/100KRW	期末レート 10.23		期末レート 8.99				<b>特別損益</b> リースバックによる 売却損益263百万円

## 2019年12月期3Q セグメント別

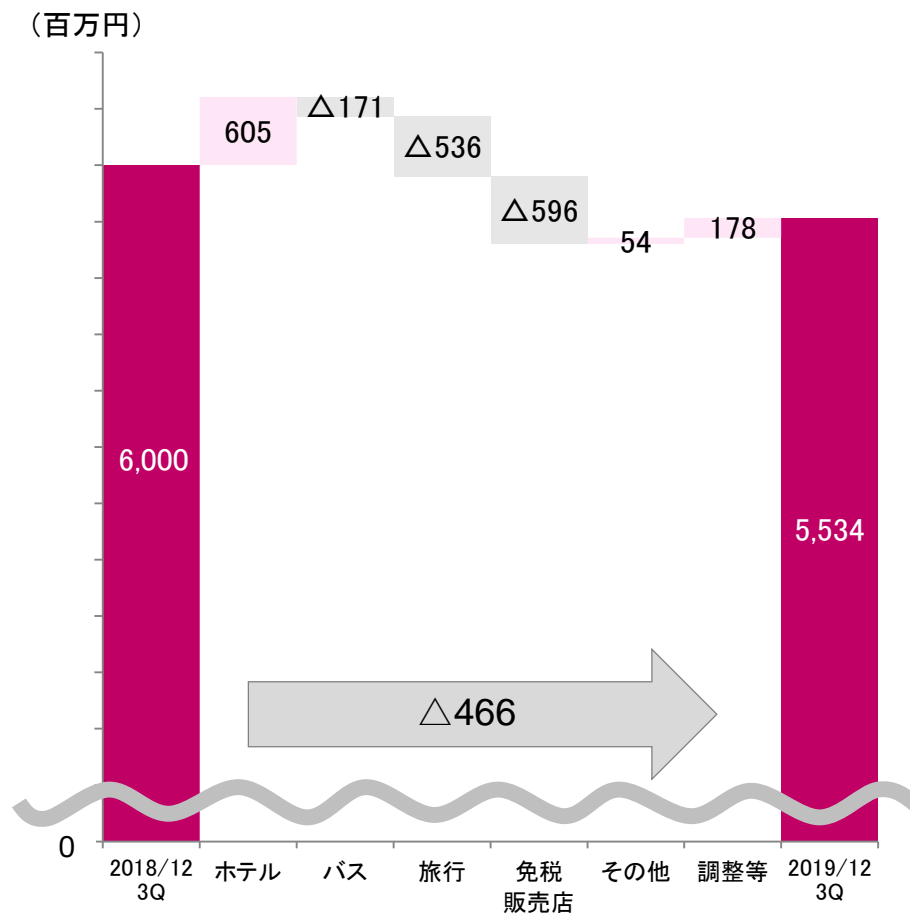
単位：百万円（百万円未満切捨て）、%

		2018/12 3Q	2019/12 3Q	前期比		
				増減	伸率	構成比
旅行事業	売上高	2,340	1,804	△ 536	△ 22.9	32.6
	セグメント利益	843	477	△ 366	△ 43.4	94.5
	利益率	36.0	26.4	△ 9.6	—	—
バス事業	売上高	1,790	1,619	△ 171	△ 9.6	29.3
	セグメント利益	65	156	91	2.4倍	30.9
	利益率	3.6	9.6	6.0	—	—
免税販売店事業	売上高	2,057	1,461	△ 596	△ 28.3	26.4
	セグメント利益	208	37	△ 171	△ 82.1	7.3
	利益率	10.1	2.5	△ 7.6	—	—
ホテル等施設運営事業	売上高	835	1,440	605	72.4	26.0
	セグメント利益	22	185	163	8.2倍	36.6
	利益率	2.6	12.8	10	—	—
その他	売上高	113	167	54	47.4	3.0
	セグメント利益	△ 55	△ 33	22	40.0	△ 6.5
	利益率	△ 48.7	△ 16.8	31.9	—	—
小計	売上高	7,138	6,494	△ 644	△ 9.0	117.3
	セグメント利益	1084	822	△ 262	△ 24.2	162.8
	利益率	15.2	12.7	△ 2.5	—	—
調整等	売上高	△ 1,137	△ 959	178	15.7	△ 17.3
	セグメント利益	△ 312	△ 316	△ 4	△ 1.3	△ 5.7
	利益率	—	—	—	—	—
合計	売上高	6,000	5,534	△ 466	△ 7.8	100.0
	営業利益	771	505	△ 266	△ 34.4	100.0
	利益率	12.9	9.2	△ 3.6	—	—

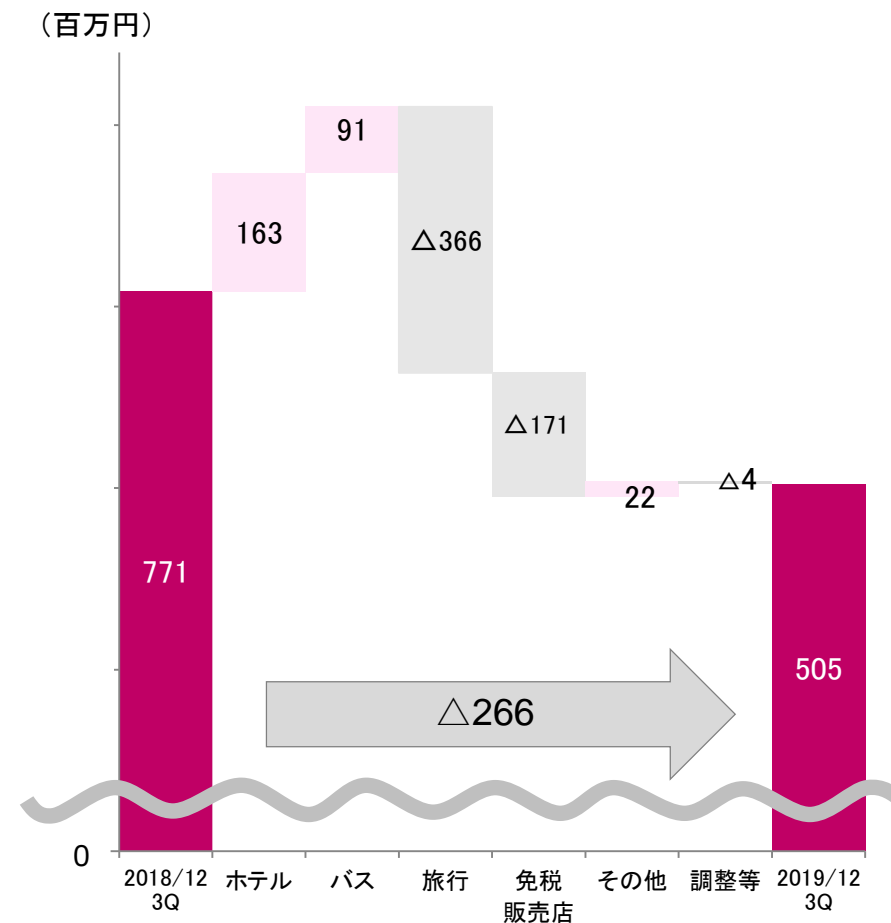
## 2019年12月期3Q 増減分析

ホテル・バス事業の収益構造が改善するも旅行事業・免税事業の減益が影響

## 売上高



## 営業利益



※百万円未満切捨て

## 2019年12月期 予想サマリー

**2019年12月期は前期比12.7%減収、63.8%営業減益予想 配当予想は変更なし**

単位：百万円（百万円未満切捨て）、%、円

	2018/12		2019/12 前期比			
		構成比	予想	増減	伸率	構成比
売上高	<b>7,891</b>	100.0	<b>6,887</b>	△ 1,003	△ 12.7	100.0
営業利益	<b>918</b>	11.6	<b>332</b>	△ 586	△ 63.8	4.8
経常利益	<b>727</b>	9.2	△ <b>1,460</b>	△ 2,188	—	—
親会社株主に帰属する 当純利益	<b>558</b>	7.1	△ <b>965</b>	△ 1,524	—	—
1株当たり当期純利益	<b>50.89</b>		△ <b>88.70</b>			
1株当たり配当金	<b>20.00</b>		<b>20.00</b>			
為替レート JPY/100KRW	期末レート 10.02		想定レート 8.45			

## 2019年12月期 予想 損益計算書

単位：百万円（百万円未満切捨て）、%

	2018/12		2019/12 前期比			
		構成比	予想	増減	伸率	構成比
売上高	<b>7,891</b>	100.0	<b>6,887</b>	△ 1,003	△ 12.7	100.0
売上原価	2,926	37.1	2,250	△ 676	△ 23.1	32.7
売上総利益	4,964	62.9	4,636	△ 328	△ 6.6	67.3
販管費	4,046	51.3	4,304	258	6.4	62.5
うち人件費	1,383	17.5	1,468	85	6.1	21.3
営業利益	<b>918</b>	11.6	<b>332</b>	△ 586	△ 63.8	4.8
経常利益	<b>727</b>	9.2	△ <b>1,460</b>	△ 2,188	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	<b>558</b>	7.1	△ <b>965</b>	△ 1,524	-	-

## 2019年12月期 予想 セグメント別

単位：百万円（百万円未満切捨て）、%

		2018/12	2019/12 前年比			
			予想	増減	伸率	構成比
旅行事業	売上高 セグメント利益 利益率	2,980 1,036 34.8	2,284 439 19.3	△696 △597 △15.4	△23.4 △57.6 —	33.2 132.2 —
バス事業	売上高 セグメント利益 利益率	2,399 105 4.4	2,186 261 12.0	△213 156 7.7	△8.9 2.5倍 —	31.7 78.6 —
免税販売店事業	売上高 セグメント利益 利益率	2,555 192 7.5	1,576 △43 △2.7	△979 △235 —	△38.3 赤転 —	22.9 -13.0 —
ホテル等施設運営事業	売上高 セグメント利益 利益率	1,283 64 5.0	1,974 196 9.9	691 132 4.9	53.9 3.1倍 —	28.7 59.0 —
その他	売上高 セグメント利益 利益率	158 △72 △45.6	246 △16 △6.5	88 56 —	55.7 — —	3.6 -4.8 —
調整等	売上高 セグメント利益 利益率	△1,486 △408 27.5	△1,380 △505 36.6	106 △97 9.1	△7.1 △23.8 —	△20 △152 —
合計	売上高 営業利益 利益率	7,891 918 11.6	6,887 332 4.8	△1,003 △586 △6.8	△12.7 △63.8 —	100.0 100.0 —



## 2019年12月期3Qの主な取組み

---

### 緊急避難的な措置

- 抜本的な固定経費の見直し・節減
- 免税販売店事業の北海道店舗の臨時休業
- バス車両の台数調整（稼働率コントロール）

## 2019年12月期4Qの主な取組み

---

- グローバル化の推進（韓国依存度の低減）  
Gorillaによる中国・ASEAN諸国、欧米等の強化
- 生産性向上のための社内組織の改善  
営業力強化
- 選択と集中  
ハイヤー事業の休止、システム投資の継続
- Tmark City札幌ODORIの開業  
開業月より営業黒字を見込む

# ディスクレームー

- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

【お問い合わせ先】

株式会社HANATOUR JAPAN

経理財務部

TEL 03-6402-4411

ホームページ <http://www.hanatourjapan.jp/>